

法人名「社会福祉法人 慈愛会」 事業所名「養護老人ホーム篠原の里」

所在地「福岡県糸島市」

（ホームレス支援活動への取組み）

《事例の概要》

社会福祉法人慈愛会（以下「慈愛会」という）は、福岡県及び宮崎市に事業所を有する社会福祉法人である。平成24年度から慈愛会が運営している「養護老人ホーム」が中心となって、生活困窮者対策であるホームレス支援活動に取り組んでいる。

具体的には、福岡市博多区の公園に出向し、そこに集うホームレスの方々へ「生活支援」及び「炊き出し」活動を通して、実態把握及び健康チェック、食事提供を行っている。特に実態把握については、他のホームレス支援団体との連携により、配食はボランティア等、自法人職員だけではなく他法人職員、他機関他団体、大学生等との連携及び協力体制を構築し実施している。

また食事提供については養護老人ホームの利用者が調理・味付けしており、広い意味での「生活互助」の関係をつくっている。

またホームレス支援活動に養護老人ホーム利用者が参加し、主体的積極的に活動に取り組んでいることで、生活の充実につながってきている。

そして次第に次の段階である「生活の自立」、つまり中間的就労及び在宅生活の可能性を検討することになっていく。このようにホームレス支援活動の実施は、養護老人ホーム利用者への波及効果も注目すべき点であるといえる。

法人の基本理念

私たち一人ひとり、愛される者として存在している。私たちは、利用者一人ひとりを大切な独自の存在として尊重しなければならない。

それは、利用者に係わる職員が、先ず心を開いて自分があるがままに受け入れ、生命を与えられたことに感謝し、同時にお互いをひとりの大切な人として認めあうことから始まる。

私たちは、ひとりの人から、ひとりの人へという触れ合いを、何よりも大切にしたい。

創始者 平田 清正

《法人の基本情報》

法人名：社会福祉法人慈愛会

設立年：1949年事業開始、1971年認可

所在地：福岡県、宮崎市

事業所数：19か所



(主な事業)

事業名：乳児院	
名称：清心乳児園	定員20名
事業名：児童養護施設	
名称：清心慈愛園	定員60名
事業名：医療型障害児入所施設、療養介護	
名称：医療福祉センター聖ヨゼフ園	定員120名
事業名：特別養護老人ホーム	
名称：富の里	定員50名
事業名：養護老人ホーム	
名称：篠原の里	定員50名
事業名：地域密着型介護サービス	
名称：小規模多機能型居宅介護源藤の里こころ	定員25名



取組みの背景・理由

慈愛会法人理念の周知実践として、「私たちは、高い理想と向上心を持ち法人理念を実践することにより、社会福祉法人としての使命を果たす」という目標を掲げ、日々利用者援助に取り組んでいる。

中でも制度の狭間で悩んでおられる人々への支援は、慈愛会のミッションであると同時に、社会福祉法人のミッションでもある。ホームレス支援活動の取組み動機については、行くあてがない方を養護老人ホームに受け入れ、施設生活になじめず無断外出・外泊が続き、捜索を行った際、ホームレスの方々の協力を仰いだ事に端を発している。

現在では、以下の3つの目的を掲げ活動に取り組んでいる。

公園で生活している方が寒さを一時的に忘れ、「あったかさ」を感じることができるよう支援。

利用者、慈愛会職員がボランティア体験をすることによる「自己の振り返り」

公園で生活されている方々へ相談活動を実施し、自立支援につなげる。

事業等の内容

1. 対象：福岡市出来町公園で生活している方々及び生活困窮者（平均約50人程度）

2. 場所：福岡市博多区出来町公園

3. 内容

①. 相談支援活動

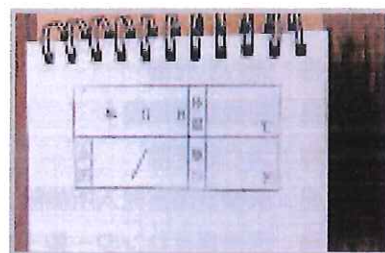
公園内に相談コーナーを設置し、当法人職員が担当し身の上相談を実施。当法人職員で課題解決できない場合は、他ホームレス支援団体へとつないでいる。

②. 健康チェック

相談コーナーにて、当法人看護師による血圧、検温、脈拍の測定及び健康相談を実施している。

また健康チェックの記録は、健康ノートを配布し即定時に毎回記入し、本人が受診時や緊急時等に活用できるようにしている。

相談コーナーと健康ノート



③. 炊き出し

すいとん汁等の調理・味付けについては、養護老人ホーム食堂で行い、出来上がった鍋を密封し公園まで持参している。(毎回120食分程度)

公園に集まったボランティアですいとん汁等配布している。

平均50人程のホームレスの方々に提供している。

すいとん汁の他、お茶、ホッカイロ（冬期のみ）、ちらし（「体調がわるいときに」）を配布

調理風景と配食を待つ対象者の方々



4. 実績：平成25年2月～平成27年2月10日現在

対象者及びボランティア

年度	対象者	ボランティア	内養護老人ホーム利用者
24年度	208名	86名	39名
25年度	695名	249名	114名
26年度	675名	182名	83名
合計	1578名	517名	236名

5. 頻度：月1回

(第4月曜日 平成27年2月10日現在)

6. その他：必要経費

(食材料費、交通費)については、養護老人ホーム利用者作成のマスコットをバザーで販売し売上金を充当している。

今後の取組みと課題

現在福岡県に369名のホームレスの方々が生活しており、内245名が福岡市で生活している。

(厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査」平成26年1月結果より) 目の前の困っている方々への対応と同時に、自立に向けた生活支援が課題となる。

そのためには福祉全般を含め生活全般に関係する諸制度について把握し、関係機関との連携や情報共有を図りながら、課題解決に向けた支援が必要である。

またこの活動を継続的に実施していくには「資金面の調達方法」や「活動から事業化」への検討も重要である。

今後も社会福祉法人の使命を十分に認識し、制度の狭間で悩んでおられる方々・生活困窮者への取組みを実践していきたいと考える。

個人のニーズを尊重した生活支援を行い、
豊かな生活を応援します。

